Photo News
まちの話題

◀餅にきな粉をまぶす児童

▶杵で石臼の中の餅をつく児童

朝和小学校で黒米の収穫祭

朝和小学校で11月22日、古代米の収穫祭がありました。

古代米は11月1日、児童が近くの田で稲刈りして収穫した黒米。白いもち米と混ぜて蒸したあと、石臼の中へ。エプロンと三角巾姿の児童は、ふるさと運動実行委員の皆さんの指導を受けながら、神妙な顔つきで千本づき用の小棒と杵を使っての餅つきをそれぞれ体験しました。

児童は、つきあがった餅をきな粉餅やだんご汁にして味わっていました。

青少年を守り育てる市民の集い

11月16日、文化センターで「第30回青少年を守り育てる市民の集い」が開催されました。

ポスター・標語入賞者の表彰、市民集会の趣旨説明があったあと、「天理っ子マナーアップ大作戦!―身近なルールやマナーについて考えよう―」をテーマに、子どもフォーラムが行われました。はじめに、携帯電話や自転車などに関わる三択クイズがあり、来場者も加わり会場内は和やかな雰囲気に包まれました。

続いて、参加した小・中学生５人のパネリストがそれぞれの経験から気づいたルールやマナーについて発表し、規範意識を高めていくことを確かめあいました。

◀身近なルールやマナーについて熱く語るパネリスト

アビリンピック出場のため表敬訪問

▲「出場激励」状を受け取る釜中さん（写真中央）

11月22日から24日までの間、千葉市で開かれる全国障害者技能競技大会（アビリンピック）に県代表として出場する釜中歩夢さんと母ゆり子さんが11月18日、市役所を訪れました。

釜中さんは「オフィスアシスタント」として、書類の封入やラベル貼りなど早さと正確さが求められる競技に出場。並河市長から「優勝目指してがんばってください」と「出場激励」状が贈られました。